

内臓脂肪CT検査

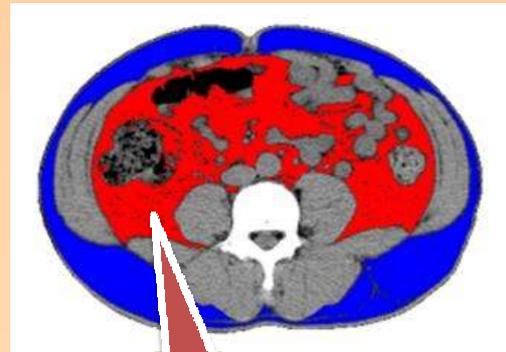
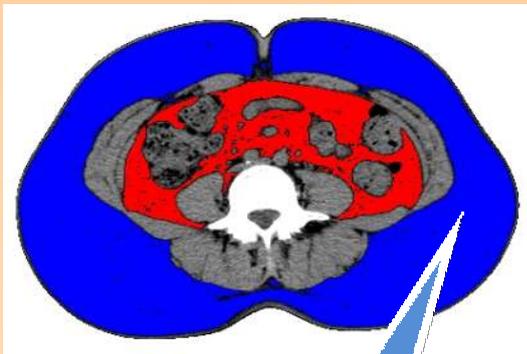
メタボリックシンドローム（metabolic syndrome）は、内臓脂肪症候群とも呼ばれ、内臓脂肪の蓄積によって、脳こうそく、心筋こうそく、糖尿病などの大きな病気を起こしやすくなっている状態のことを言います。

内臓脂肪は食べ過ぎ・飲みすぎ・運動不足・喫煙など不健康な生活習慣によって蓄積されていきます。

CTでお腹の断面像を撮影し、内臓脂肪面積を計測します。

検査時間は2～3分です。

腹囲がほぼ同じで内臓脂肪が異なる例



青の部分 皮下脂肪

皮下脂肪は、皮膚の下、筋肉より外側に付く脂肪を指し、エネルギーの貯蔵や保温などの働きをします。同じ肥満でも皮下脂肪が多い場合はあまり悪い病気に直結することは少ないようです。

赤の部分 内臓脂肪

内臓脂肪とは、筋肉より内側・内臓の周りにつく脂肪です。

■ 内臓脂肪	□ 骨
■ 皮下脂肪	■ 筋肉その他の組織
■ 腸管ガス	